

主題：
諸召会における失敗、召会の墮落、
召会における勝利者、召会の回復、召会の各段階

メッセージ 14

召会の各段階

(3)

テアテラに在る召会とサルデスに在る召会

聖書：啓 2:18—3:6

- I. テアテラに在る召会はしるしとして、ローマ・カトリック召会を予表しています。ローマ・カトリック召会は、第六世紀の後期に、普遍的教皇制度を確立することによって、背教の召会として完全に形成されました——啓 2:18：
- A. アハブの異教の妻であるイゼベルは、背教の召会の予表です。ローマ・カトリック召会は、この女と同じになり、多くの異教の実行を召会の中へもたらしました——列王上 16:31. 19:1-2. 21:23, 25-26. 列王下 9:7。
- B. マタイ第 13 章、啓示録第 2 章、啓示録第 17 章の三人の女は、同じ人です：
1. マタイ第 13 章 33 節において、女はパン種（邪悪で、異端で、異教のものを表徴する）を取って、三升の粉（神と人とを満足させるための穀物のささげ物としてのキリストを表徴する）の中に隠しています。
 2. この女は、啓示録第 17 章の大遊女であって、忌むべきものと神聖なものとを混合させています。第 2 章 20 節から 23 節において、同じ女がイゼベルと呼ばれています。
 3. これら三人の女はみな、ローマ・カトリック召会を指しています。ローマ・カトリック召会は、きめの細かい小麦粉にパン種を加え、獣に乗った遊女であり、キリスト教を腐敗させるイゼベルです。
- C. 啓示録第 2 章 20 節において、主は、背教の召会が自己任命の女預言者であり、主の奴隷たちを教え惑わすことを示しています：
1. 背教の召会は大胆にも、神によって権威を受けて、神のために語っていると思ひ込んでいます。背教の召会は、人々が神に聞くよりも、彼らに聞くことを要求します——I テモテ 2:12。
 2. ローマ・カトリック召会は、教える女です。背教の召会は自ら教えて、人々が神の聖なる御言を聞くよりも、彼らに聞くようにさせます。彼らの追随者は、彼らの異端的で、宗教的な教えによって麻ひさせられています。
- D. 啓示録第 2 章 24 節によれば、背教の召会は、「サタンの深い事柄」を教えています：
1. キリストは、召会の中に住んでおり、サタンは、サタンの深い事柄の教えを通して、こうかつな方法で背教の召会の中に住んでいます。
 2. 背教の召会は、奥義を教えますが、新約で啓示された神のエコノミーに関する奥義を教えません——コロサイ 2:2. エペソ 3:3-5, 9. 5:32。
 3. サタンの深い事柄とは対照的に、神を愛する者たちのために神が備えた事柄は、

神の深み、神の深い事柄としてのキリストです—— I コリント 2:9-10 :

- a. 神がわたしたちのために定め、備えた彼の深く隠された事柄を認識し、それにあずかるために、わたしたちは神を愛することを必要とします。神を愛することは、わたしたちの全存在（霊、魂、体）を、心、魂、思い、力と共に（マルコ 12:30）完全に彼の上に置くこと、すなわち、わたしたちの全存在を彼に占有してもらい、わたしたちが彼の中で失われることです。その結果、彼がわたしたちのすべてとなり、わたしたちは日常生活の中で実際に彼と一となります。
 - b. このようにして、わたしたちは神と最も近く、最も親密な交わりを持ちます。そして、わたしたちは神の心の中に入って、心の秘密をすべて理解することができます（詩 73:25. 25:14）、また神のこれらの深く隠された事柄に十分にあずかることができるのです。
- E. テアテラにいる勝利を得る者に対する主の約束は、キリストと共に王として諸国民を支配し、彼らに明けの明星を与えるというものです——啓 2:26-28. 22:16. マタイ 25:21. ルカ 19:17 :
1. 「一つの星（がヤコブから出て来て）」（民 24:17）と、主の誕生の時に現れた星（マタイ 2:7, 9-10）は、啓示録第 2 章 28 節の明けの明星において究極的に完成します。明けの明星は、最も暗い時、すなわち、真夜中過ぎ、夜明け前に現れます。
 2. 明けの明星の原則において、クリスチャンは早く起きるべきです。なぜなら、早朝は主に会う（神と交わる、賛美し、また歌う、務めの言葉と共に聖書を祈り読みする、主に祈る）ための最上の時であるからです——雅 7:12. 詩 5:1-3. 57:8-9. 59:16-17. 63:1-8. 90:14. 92:1-2. 108:2-3. 143:8. 出 16:21。
 3. 彼は、彼ご自身を明けの明星として、彼を愛している者に、また目を覚まして彼を待ち望む者たちにひそかに与えます。それは、彼らが、彼の久しく離れていた後の再来の時に、彼の臨在の新鮮さを優先的に味わうことができるためです。
 4. わたしたちは生けるビジョンと天の星としての彼からの生ける指示を持つ必要があります——マタイ 2:1-12. 民 24:17. 参照、ミカ 5:2 :
 - a. わたしたちは聖書の知識を持っていますが、なおも生ける指示を伴う即時的な最新の生ける星に、まさしくイエスがいる場所に導いてもらう必要があります。
 - b. もしそのような不可欠な生ける指示が欲しければ、わたしたちは主と親密な関係を持っていなければなりません。わたしたちは彼と一でなければなりません——II コリント 2:10-14。
 - c. 星占い師たちは家でイエスを礼拝した後、夢の中で、ヘロデの所に戻らないようにと、神からの指示を受けたので、別の道を通して自分たちの国へ旅立ちました。わたしたちは生けるキリストを見た後、決して同じ道を通ることなく、常に別の道を通ります——マタイ 2:12。
 - d. 聖書は神の聖なる文書ですが、わたしたちはなおも神の聖なる臨在を必要とします。わたしたちはいつでも神の臨在の中にいる必要があります。主を見いだし、主に従う新約の道は、絶えず彼の隠された臨在を保ち、またその中にとどま

ることです——Ⅱコリント 2:10. Iヨハネ 2:27. 参照、イザヤ 45:15. 出 33:11, 14。

5. キリストの忠信な従者と使いは、聖書の輝く預言の言葉によって(Ⅱペテロ 1:19)、また七倍に強化された霊によって(啓 3:1. 4:5. 5:6)、生ける輝く星となりま
す(啓 1:20. ダニエル 12:3. 参照、ユダ 13節)。
6. ペテロの第二の手紙第1章19節によれば、もしわたしたちが預言者の言に心をと
めるなら、わたしたちの内側で夜が明け、明けの明星がわたしたちの心に昇るで
しょう：
 - a. 預言の言に心をとめるとは、生ける言に注意を払い、言の中へと入って、つい
にわたしたちの内側に明けの明星が昇り、天からものがわたしたちを照らすよ
うになることです。
 - b. わたしたちは確かな言に来て、わたしたちの全存在を言に開いて、ついに明け
の明星としてのキリストがわたしたちの中に昇り、わたしたちを照らす必要が
あります。

II. しるしとして、サルデスに在る召会は、宗教改革の時からキリストの再来までのプロ テスタント召会を予表しています——啓 3:1 :

- A. 「わたしはあなたのわざを知っている。あなたは生きているというのは名だけで、
実は死んでいる」(1節)。わたしたちは確かに、サルデスに在る召会の状態の中
にいたくありません。わたしたちは、福音の宣べ伝え、新しい人たちを養うこと、
聖徒たちを成就すること、預言してキリストのからだを建造することにおいて生き
ていて、活発でありたいのです——ヨハネ 15:16. マタイ 24:45. エペソ 4:12. Iコ
リント 12:31—13:1. 8:1. 14:1, 3-5, 12, 31。
- B. 「もしあなたが目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。いつの時、わた
しがあなたに臨むか、あなたは決してわからないであろう」(啓 3:3)。この節は、
キリストが盗人のように来て、彼の宝、彼の尊い追い求める者たちを盗み去る方
であることを示しています(ダニエル 9:23. 10:11, 19) :
 1. 命において円熟し、魂において造り変えられている人たちだけが、主が盗むだけ
の価値があります——啓 3:3. ヘブル 6:1 前半。
 2. わたしたちは、主がひそかに来る時のために、徹底的に準備していなければなり
ません。ですから、わたしたちは用意し、目を覚ましていなければなりません——
ルカ 21:36. マタイ 24:42-44。
- C. キリストは、勝利者たちに着せる白い衣です——啓 5:4-5 :
 1. 詩篇第45篇は、すべてのクリスチャンが二つの衣を必要とすることを示していま
す。
 2. この詩篇は、キリストの麗しさの全体像、全貌を示しています。それは、四福音
書において明らかにされているようにキリストご自身の中にあり(1-8節)、ま
た書簡において啓示されているように召会、すなわち、彼の勝利を得た王妃であ
り妻の中にあり(9-15節)、また啓示録において見られるように彼のすべての子
たち、すなわち、首長としての勝利者たちの中にあります(16-17節)。
 3. 王は王妃の麗しさを切望しています。王妃の麗しさは、召会を通して表現される

- キリストの美德を表徴しています——10-11 節、雅 4:7, 9-10 節：
- a. 花嫁の麗しきは、召会の中へと造り込まれ、その後、召会を通して表現されるキリストから来ます——エペソ 1:19-23. 3:16-21. 5:25-27。
 - b. わたしたちの唯一の麗しきは、わたしたちの内側からキリストが輝き出すことです。キリストがわたしたちの中で高く評価するのは、ご自身の表現です——ピリピ 1:20. 2:15-16. 参照、出 28:2。
4. 詩篇第 45 篇の王妃は二つの衣を持っています。第一の衣は「オフルの金」、金が織り込まれた織った物です——9 節後半, 13 節後半：
- a. 第一の衣は「オフルの金」、金が織り込まれた織った物です——9 節後半, 13 節後半：
 - (1) この衣は、わたしたちの客観的な義としてのキリストに相当し、わたしたちの救いのためです——ルカ 15:22. I コリント 1:30. イザヤ 61:10。
 - (2) 王妃が金で覆われていることは、召会が神聖な性質において現されることを表徴します——詩 45:9 後半。
 - (3) 金が織り込まれた織った物は、死と復活を通して取り扱われたキリストが神の義なる要求を満たす召会の義であり、召会が神によって義とされるためです——ガラテヤ 2:16. ローマ 3:26。
 - b. 第二の衣は刺繍された着物です。この衣は、わたしたちの主観的な義としてわたしたちから生かし出されたキリストに相当し、わたしたちの勝利のためです——詩 45:14 前半. 啓 19:8. ローマ 13:11-14. 参照、I テサロニケ 5:4-6：
 - (1) わたしたちの主観的な義として、キリストはわたしたちの中に住んで、わたしたちのために常に神に受け入れられる生活を生きる方です——ピリピ 3:9. マタイ 5:6, 20. ローマ 8:4. 参照、詩 23:3。
 - (2) 刺繍された着物の衣は、婚姻の時、召会が婚姻のためのキリストの要求を満たす聖徒たちの義(輝く清い細糸の亜麻布の衣)を着せられて、キリストの所に導かれることを表徴します——啓 19:8. エペソ 5:27. 参照、創 2:22。
- D. 啓示録第 3 章 5 節の白い衣は第二の衣を指しており、それはわたしたちが褒賞を得、命の書から消されないで、王国の中へと入って、主と共に歩く、すなわち、主と共に王として支配するために必要とされます——II テモテ 2:11-12. ローマ 5:17, 21。
- E. わたしたちは宗教の死んだ状態に打ち勝ち、あらゆる種類の死を征服し、白い衣を着るべきです——啓 3:4-5 前半、民 6:6-8. 参照、レビ 5:2。